

上越市まちなか居住推進事業

【高田地区】

ニュースレター Vol.3

「まちなか居住推進事業」とは？

まちなかに**“これからも住み続けたい” “新たに住んでみたい” “また訪れたい”**と思う人が自然に集まるまちを目指す新しいまちづくりの取組です！

本紙やホームページを通じて、事業の取組状況を定期的にお知らせしています。

今回は、令和4年4月20日(水)、5月11日(水)に大町小学校5年生が「**総合学習**」で行ったまち歩きの様子をお伝えします。

総合学習のテーマは“町家を彩る”

大町小学校5年生のクラスは、令和4年度の総合学習を“**町家を彩る**”と題し、子どもたちに「自分たちのまちっていいな」としてもらったり、大人になったときに自分たちのまちを誇り、語れるような郷土愛のある人になってもらえるよう、学習に取り組んでいます。

総合学習ってどのような取組をしていくの？

この総合学習では、子どもたちの自由な発想をもとに地域の方々の協力をいただきながら、様々なことに挑戦し、子どもたちの学びを深めていきます。



「町家」「彩る」から連想することは？

はじめに、「町家」と「彩る」について、どのようなイメージか、子どもたちに聞いてみました。

「町家」って？

まちなかにある家

昔の上越の様子
を知らせる家



「彩る」って？

住みやすくする

人が来るように明るくする

今まで来なかった
人が来る



まずは自分たちのまちを知ること。まちに出てみよう!

大町小学校5年生が市所有の町家づくりの施設を見学し、建物の構造や歴史、町家の暮らしを学びました。

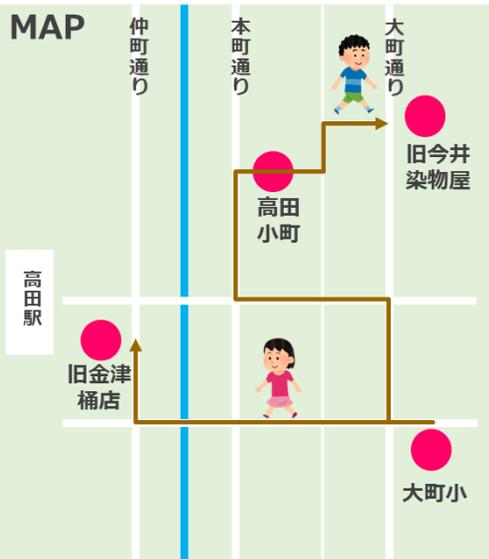
【町家交流館 高田小町】



雁木の基本は譲り合い、助け合い。
今ではとても難しいことになってきているんじゃないかな?



天井を見たら横になっている木や縦になっている木がある!
僕の家も町家だから、こうなっているのかな。



古い看板を発見したよ!
昔は文字を右から左へ読んでいたことにビックリ!



【旧金津憲太郎桶店】



【旧今井染物屋】



雁木って、みんなが家の土地を出し合っていてるんだって!

だから段差があったり、石畳だったりいろいろあるんだね!



角巻・トンビ(昔の防寒着) 着てみました

けっこう涼しいね!
夏になったらここに住んでみたい!

古くてもきれいだし、電気を消しても明るい!



子供たちが大人になったとき、このまちに“住み続けたい”と思ってもらえるようなまちでありたいですね。

どうすれば“暮らしやすいまち”になるのか、一緒に考えていきましょう!



大町小学校では、今後も高田の町家や歴史について学習していきます。

まちなか居住推進事業事務局では、今後も授業に密着し、子どもたちの学習や気づきを発信していきます。

発行 上越市まちなか居住推進事業事務局(窓口:上越市 都市整備課 市街地整備係)

E-mail:toshi-shigaichi@city.joetsu.lg.jp

Tel:025-520-5764/Fax:025-526-6112

上越市 まちなか居住

検索

